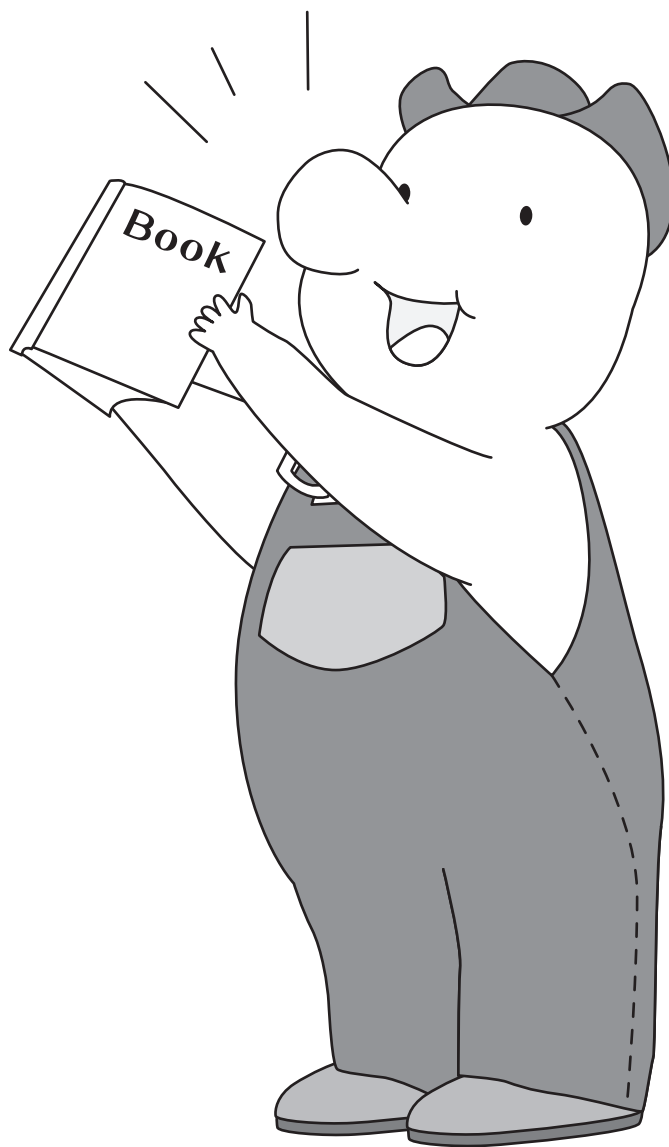


じょうずにできるかな



# モマン 5-1

なまえ

---

たしざんをしましょう。

$$\underset{\circ}{1} + \underset{\circ\circ}{2} = 3$$

$$\underset{\circ\circ}{2} + \underset{\circ\circ}{2} =$$

$$\underset{\circ\circ\circ}{3} + \underset{\circ\circ}{2} =$$

$$\underset{\circ\circ\circ\circ}{4} + \underset{\circ\circ}{2} =$$

$$\underset{\circ\circ\circ\circ\circ}{5} + \underset{\circ\circ}{2} =$$

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

# モマン 5-2

なまえ

---

たしざんをしましょう

$$\begin{array}{c} 5 \\ \text{ooooo} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} = 7$$

$$\begin{array}{c} 6 \\ \text{ooooo} \\ \text{o} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 7 \\ \text{ooooo} \\ \text{oo} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 8 \\ \text{ooooo} \\ \text{ooo} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 9 \\ \text{ooooo} \\ \text{ooo} \\ \text{o} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

# モマン 5-3

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

かべ<sup>か</sup>にみみ<sup>み</sup>あり

しょうじ<sup>し</sup>にめ<sup>め</sup>あり



かほう<sup>か</sup>は

ね<sup>ね</sup>てま<sup>ま</sup>て



き<sup>き</sup>はいつとき<sup>いつ</sup>はじ<sup>は</sup>の恥<sup>ぢ</sup>

き<sup>き</sup>かぬはいっしょう<sup>いっ</sup>  
の恥<sup>ぢ</sup>



き<sup>き</sup>いてごくらく<sup>ごく</sup>

み<sup>み</sup>てじごく<sup>じ</sup>



きゆう<sup>き</sup>すれば

つう<sup>つ</sup>ず



# モマン 5-4

なまえ

せん  
線  
でむすびましょう。

き  
聞いて  
ごくらく  
極楽

ね  
寝て  
ま  
待て



かべ  
壁に  
みみ  
耳あり

き  
聞かぬは  
いっしょう  
一生  
はじ  
の恥



きゆう  
窮すれば

み  
見て  
じごく  
地獄



き  
聞くは  
いっとき  
はじ  
一時の恥

つう  
通ず



か  
ほう  
果報は

しょうじ  
障子に  
め  
目あり



# モマン 5-5

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

かべ<sup>か</sup>にみみ<sup>みみ</sup>あり  
しょうじ<sup>し</sup>にめ<sup>め</sup>あり

き<sup>き</sup>聞こえているよ



か<sup>か</sup>ほう<sup>ほう</sup>報<sup>は</sup>は  
ね<sup>ね</sup>寝<sup>ま</sup>て待<sup>ま</sup>て

あせらないで待<sup>ま</sup>っていてよう



き<sup>き</sup>聞<sup>い</sup>くは<sup>い</sup>一<sup>ど</sup>時<sup>き</sup>の恥<sup>は</sup>  
き<sup>き</sup>聞<sup>い</sup>かぬは<sup>い</sup>一<sup>じ</sup>生<sup>し</sup>の恥<sup>は</sup>

し<sup>し</sup>知らないことはきこうね



き<sup>き</sup>聞<sup>い</sup>いて<sup>ご</sup>極<sup>ら</sup>楽<sup>く</sup>  
み<sup>み</sup>見<sup>じ</sup>て<sup>ご</sup>地<sup>じ</sup>獄<sup>く</sup>

き<sup>き</sup>聞いていたのどちがうよ



きゆう<sup>きゆう</sup>窮<sup>す</sup>れば  
つう<sup>つう</sup>通<sup>ず</sup>ず

う～ん、あつわかった!



# モマン 5-6

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

かべ<sup>か</sup>にみみ<sup>みみ</sup>あり  
しょうじ<sup>し</sup>にめ<sup>め</sup>あり

かほう<sup>か</sup>は  
ね<sup>ね</sup>まて<sup>ま</sup>て

き<sup>き</sup>はいつとき<sup>いつ</sup>はじ<sup>は</sup>  
き<sup>き</sup>かぬはいつしょう<sup>いつ</sup>はじ<sup>は</sup>

き<sup>き</sup>いてごくらく<sup>ごく</sup>  
み<sup>み</sup>てじごく<sup>じ</sup>

きゆう<sup>き</sup>すれば  
つう<sup>つ</sup>ず

こううん<sup>こう</sup>はあせらず<sup>あ</sup>きなが<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>とう



どこでだれがき<sup>き</sup>いているか、  
み<sup>み</sup>ているかわからない。



き<sup>き</sup>くのとじっさい<sup>じっ</sup>とはおお<sup>おお</sup>  
ちが<sup>ち</sup>いがある。



いきづまると、かえってよい<sup>よ</sup>  
あん<sup>あん</sup>案がみつかる。



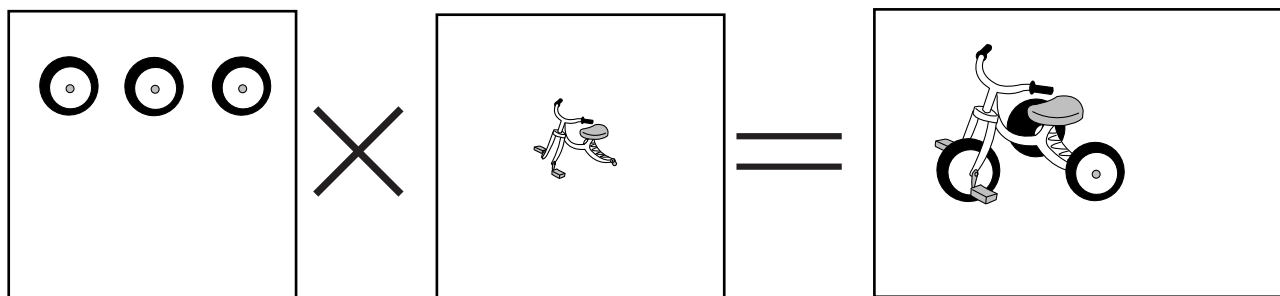
し<sup>し</sup>らないままですごくすと、いつしょう<sup>いつ</sup>  
し<sup>し</sup>らずにはずかしい<sup>お</sup>おもいをする。



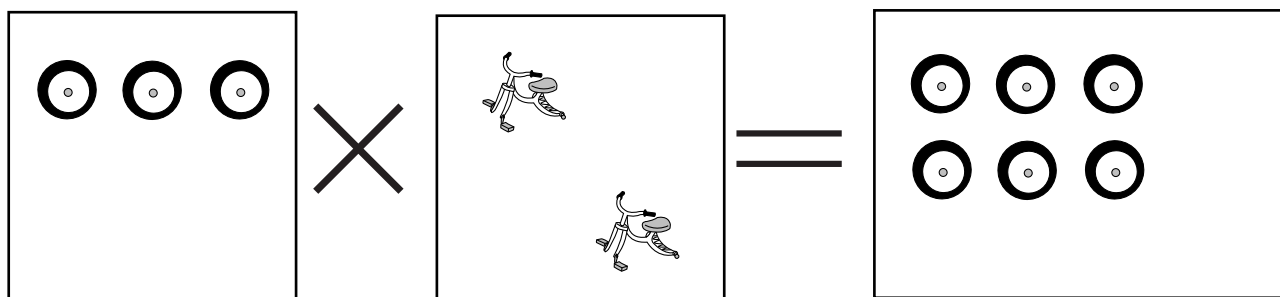
# モマン 5-7

なまえ

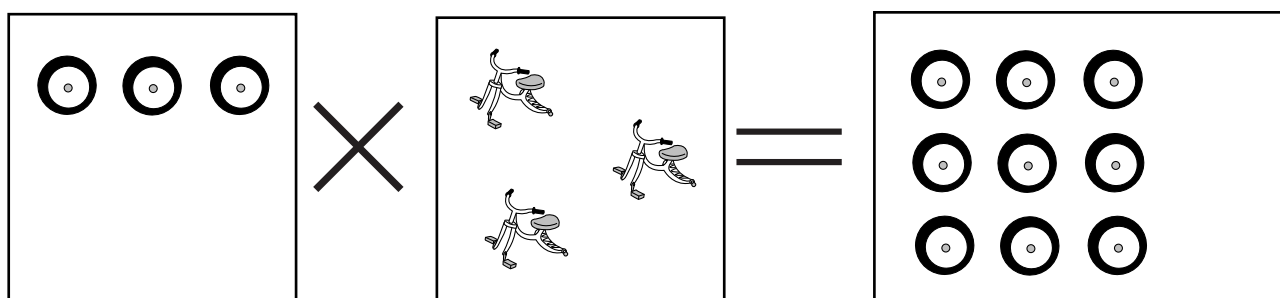
すうじをなぞりましょう。  
かけざんをしましょう。



$$3 \times 1 = 3$$



$$3 \times 2 = 6$$



$$3 \times 3 = 9$$

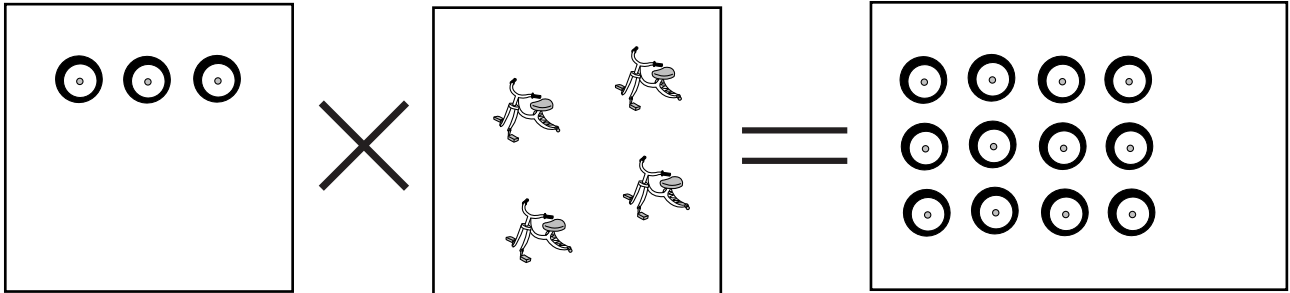
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



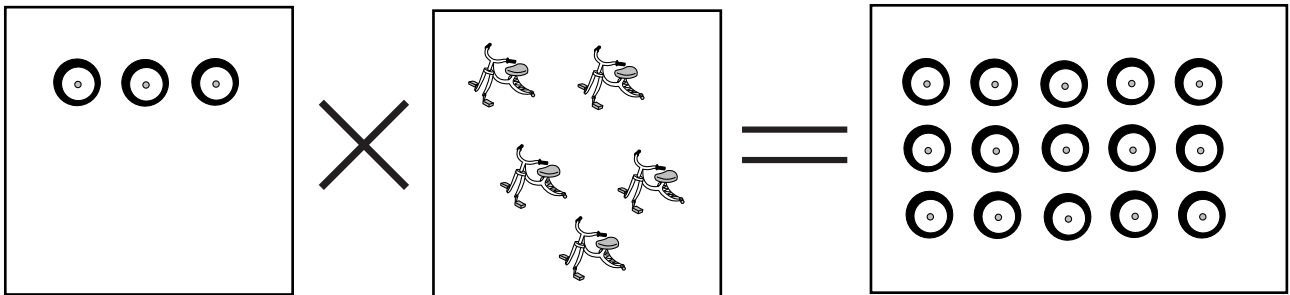
# モマン 5 - 8

なまえ \_\_\_\_\_

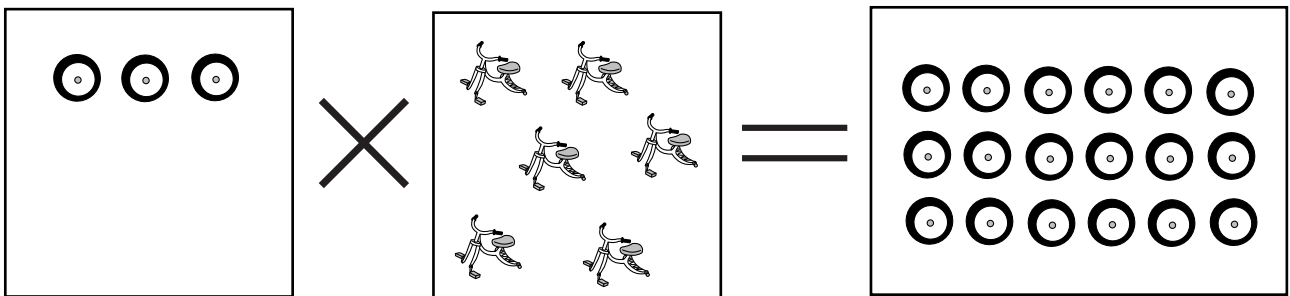
すうじをなぞりましょう。  
かけざんをしましょう。



$$3 \times 4 = 12$$



$$3 \times 5 = 15$$



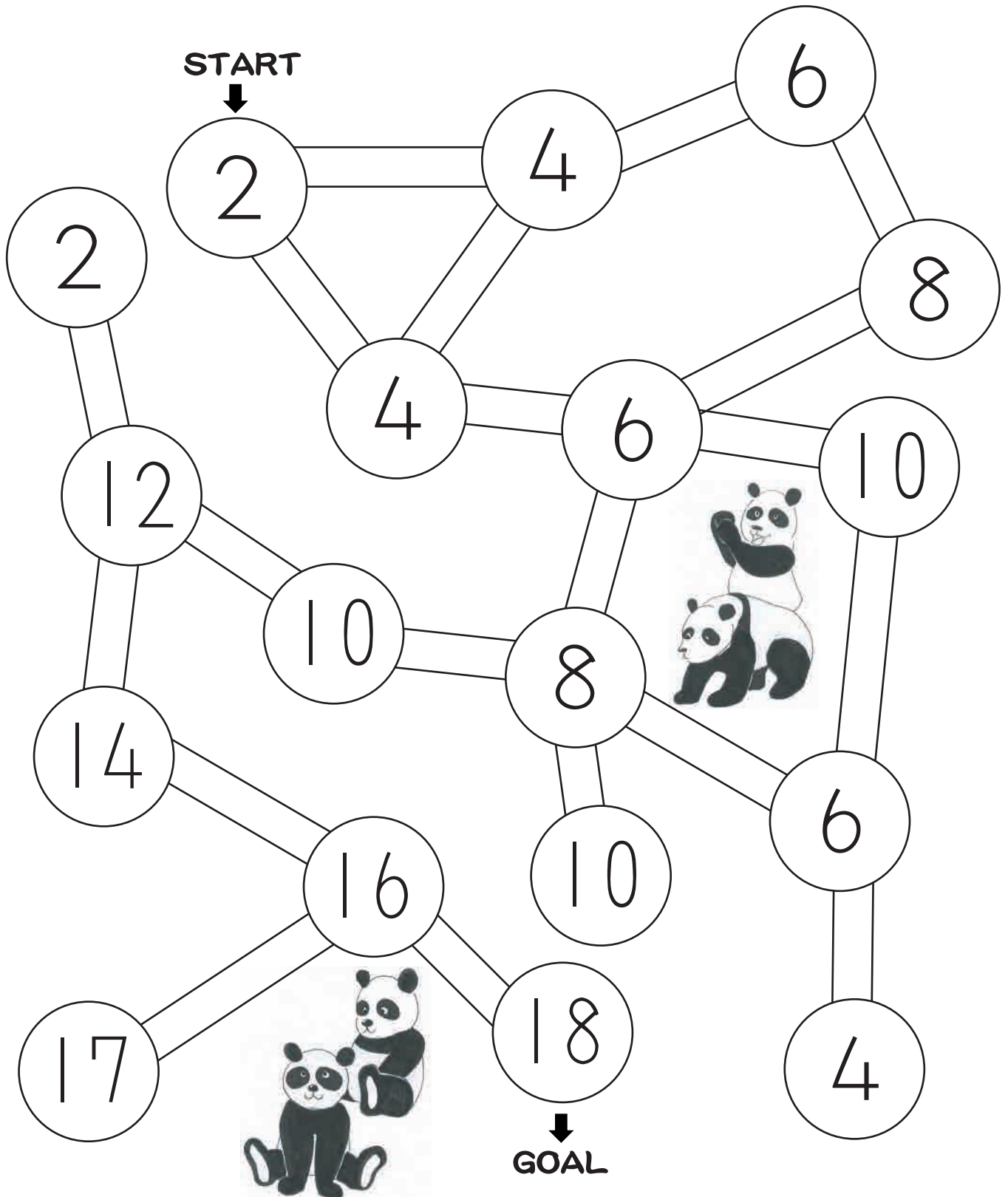
$$3 \times 6 = 18$$

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

# モマン 5-9

なまえ

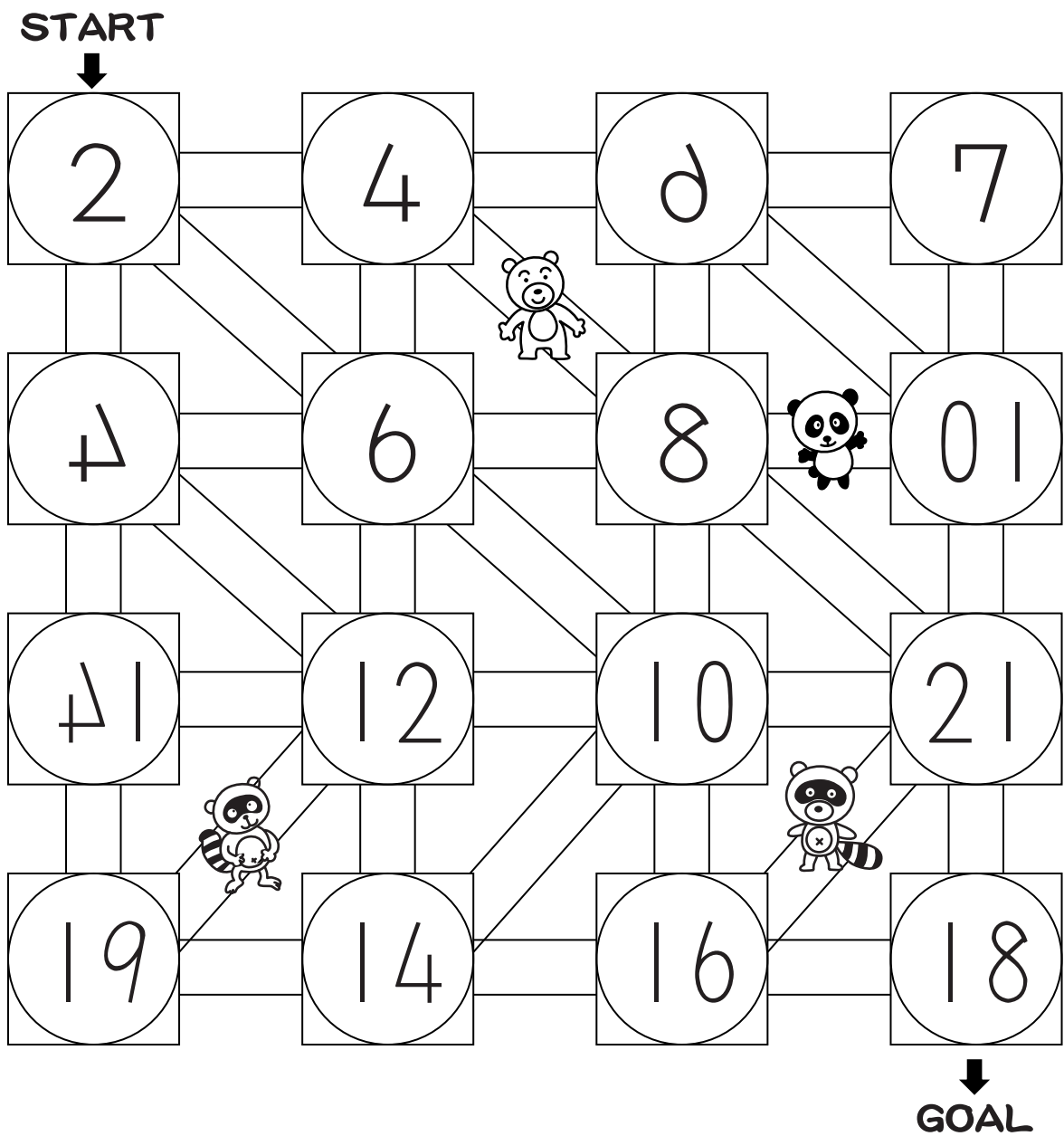
2とびで、GOAL までいきましょう。



# モマン 5 - 10

なまえ

ただしい数字<sup>すうじ</sup>をむすんで、2とびで GOAL までいきましょう。



# モマン 5-11

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

すずめ <sup>こ</sup>  
雀の子

そこのけそこのけ  
<sup>おんま</sup>御馬が<sup>とお</sup>通る



やまじ  
山路きて

<sup>なに</sup>何やらゆかし  
すみれ<sup>ぐさ</sup>草



はる みず  
春の水

ところどころに  
<sup>み</sup>見ゆるかな



# モマン 5-12

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

はる みず  
春の水

なに  
何やらゆかし  
すみれ草<sup>ぐさ</sup>



すずめ  
雀の子

ところどころに  
見ゆるかな



やまじ  
山路きて

そこのけそこのけ  
御馬<sup>おんま</sup>が通<sup>とお</sup>る



□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

す  
ず  
め  
の  
こ

そ  
こ  
の  
け  
そ  
こ  
の  
け

お  
ん  
ま  
が  
と  
お  
る

こ  
ば  
やし  
い  
つ  
さ  
小  
林  
一  
茶

モマン 5 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

や

ま

じき

て

な

に

や

ら

ゆ

か

し

す

み

れ

ぐ

さ

まつお 松尾芭蕉  
ばしろう

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

は

る  
の  
み  
ず

と  
こ  
ろ

ど

こ

ろ

に

み

ゆ

る  
か

な

上島鬼貫  
うえしまおにつら



# モマン 5 - 16

なまえ

はじめからおわりまで、<sup>すす</sup>進みましょう。

はじめ



す	ず	め	は	の	り	を	た	べ	て
ず	め	の	こ	そ	ば	お	い	ま	し
め	の	こ	ね	こ	あ	さ	ん	に	し
の	く	そ	る	の	え	だ	に	を	た
こ	い	こ	い	て	つ	ま	と	ち	よ
が	で	の	け	そ	こ	い	み	ち	き
と	ん	よ	る	こ	は	な	き	と	ん
と	が	は	し	の	あ	ぶ	ら	れ	ま
お	ま	ん	お	け	お	ん	ど	で	し
る	け	の	こ	そ	う	ろ	ど	お	た



おわり

- 1 <sup>い</sup>入り口は一つだけ、<sup>ぐち</sup><sup>ひと</sup>出口がないものなあに？

くつつした

- 2 <sup>い</sup>入り口一つに、<sup>ぐち</sup><sup>ひと</sup>出口が二つあるものなあに？

ズボン

- 3 <sup>い</sup>入り<sup>ぐち</sup>ロー<sup>ひと</sup>つ。<sup>で</sup>出口<sup>ぐち</sup>も<sup>ひと</sup>一つのものなあに？

スカート

- 4 <sup>い</sup>入り<sup>ぐち</sup>口<sup>ひと</sup>は一つ。でも、<sup>さき</sup>先<sup>い</sup>へ<sup>い</sup>行くと<sup>ご</sup>五<sup>ほん</sup>本のわか<sup>みち</sup>れ道になるものなあに？

てぶくろ

モマン 5 - 19

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

いっ き  
一 喜



おん こ  
温 故



ごん ご  
言 語



# モマン 5-20

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

いっ き いち ゆう  
一喜一憂

うれしいこともあり  
心配<sup>しんぱい</sup>することもある。



おん こ ち しん  
温故知新

むかしの本<sup>ほん</sup>から新しい<sup>あたら</sup>  
方法<sup>ほうほう</sup>の発見<sup>はっけん</sup>だ。



ごん ご どう だん  
言語道断

とんでもない!



# モマン 5-21

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

いっ き いち ゆう  
一喜一憂

とんでもないこと。



おん こ ち しん  
温故知新

よろこ 喜んで、しんぱい 心配したり  
すること。

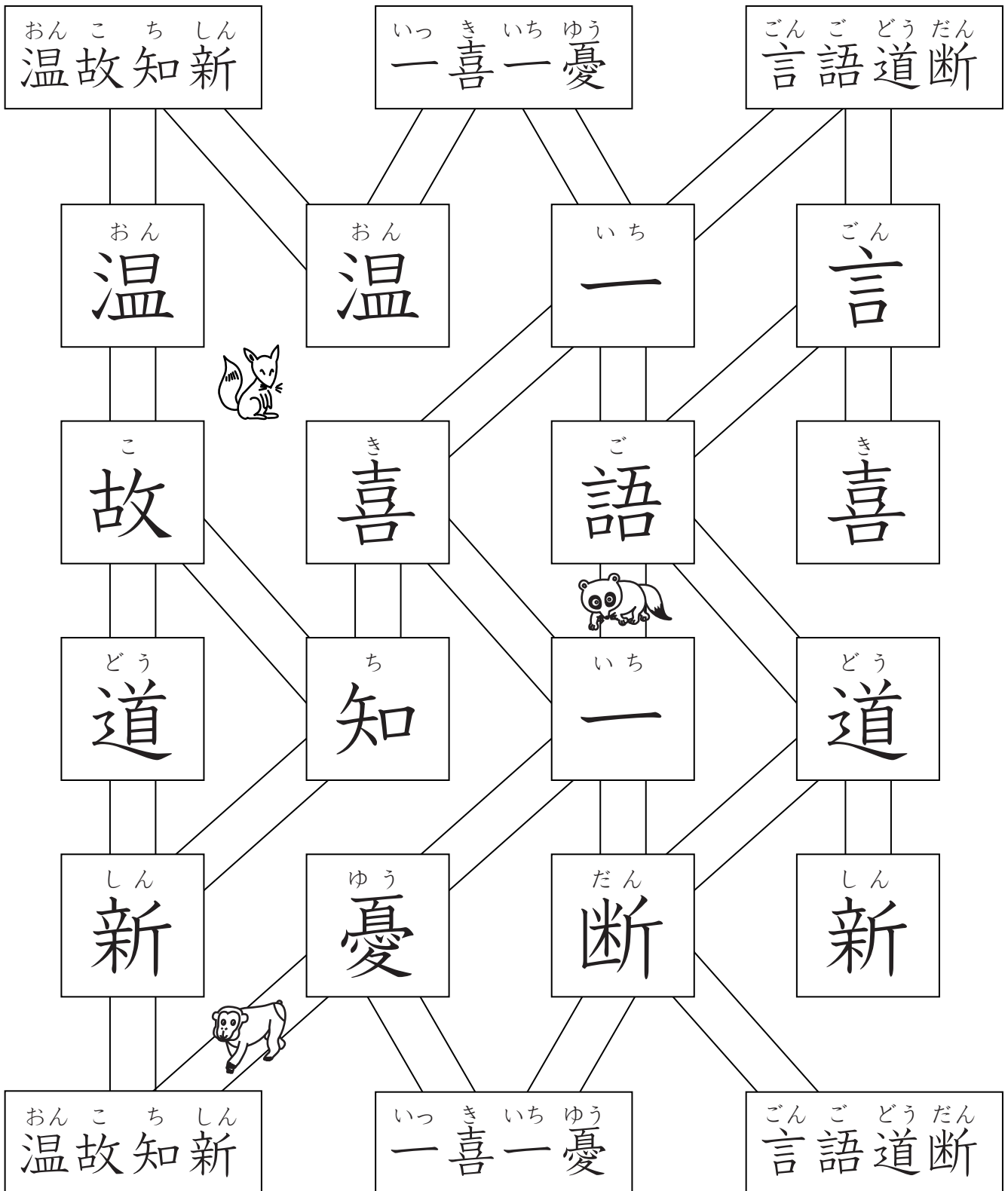


ごん ご どう だん  
言語道断

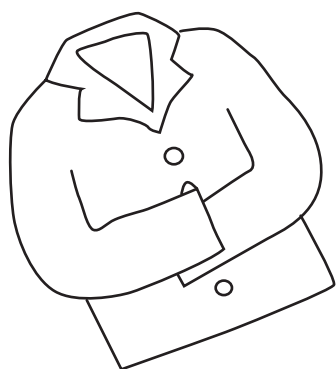
ふる 古いものからあたらしい ち  
しき 知識を発見すること。



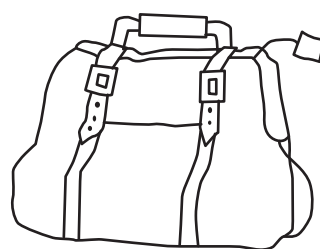
線せんでむすびましょう。



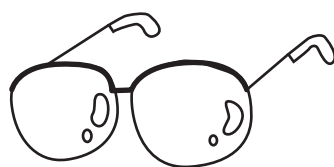
おじいさんの仕事しごとは何屋なにやさんですか？  
○をつけましょう。



ふく



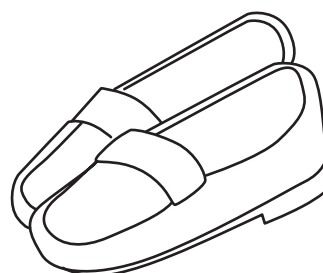
かばん



めがね



ぼうし



くつ



き 切っておいた皮は、次かわの日つぎにはどうなっひて  
いましたか？



- 1 皮が洋服かわになっようふくていた。
- 2 くつが一足いっそくできていた。
- 3 たくさんのくつができていた。

# モマン 5 - 25

なまえ

---

せん  
線でむすびましょう。

はら  
わたの原  
や そしま こ い  
八十島かけて漕ぎ出でぬと



ひと つ  
人には告げよ  
あま つりぶね  
海人の釣舟



よ  
夜もすがら  
ものおも う あ  
物思ふころは明けやらで



ねや え  
闇のひまさへ  
つれなかりけり



はる す  
春過ぎて  
なつ き しろ たえ  
夏来にけらし白妙の



ころも ちよう  
衣ほすてふ  
あま か くやま  
天の香具山



いお  
わが庵は  
みやこ す  
都のたつみしかぞ住む



よ じやま  
世をうぢ山と  
ひと う  
人はいふなり



モマン 5 - 26

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

はるす  
春過ぎて  
なつき しろたえ  
夏来にけらし 白妙の



ねや え  
閨のひまさへ  
つれなかりけり

はら  
わたの原  
やししま こい  
八十島かけて 漕ぎ出でぬと



よ じやま  
世をうち山と  
ひと う  
人はいふなり

いお  
わが庵は  
みやこ す  
都のたつみ しかぞ住む



ころも ちよう  
衣ほすてふ  
あま かぐやま  
天の香具山



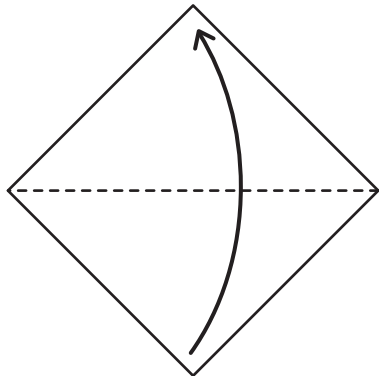
よ  
夜もすがら  
ものおも う あ  
物思ふころは 明けやらで



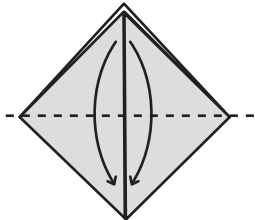
ひと つ  
人には告げよ  
あま つりぶね  
海人の釣舟



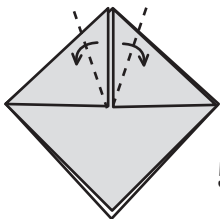
《かぶと》



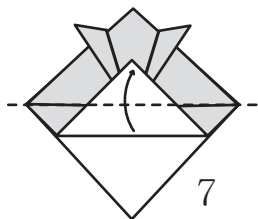
1 さんかくに おる



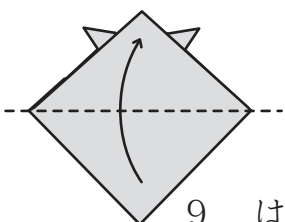
3 2で おった ぶぶんをしたがわに たにおりして おりかえす



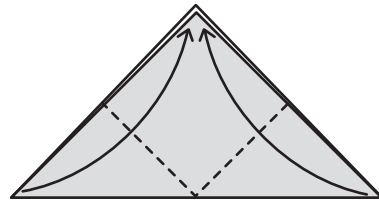
5 たにおりする



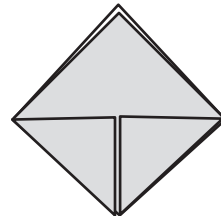
7 さらに たにおりする



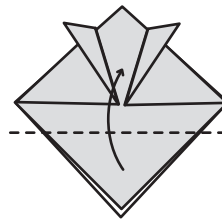
9 はんぶん に たにおりする



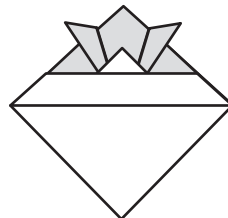
2 りょうはしを うえのさんかくに あわせるように おる



4 さかさまに おきかえる



6 たにおりする



8 うらがえす



10 うらがえしたら かぶとのかんせい

